

3類型	鉋工業品	通巻番号	3-24-197
地域資源名	遠州織物	認定日	平成25年2月4日
地域	静岡県浜松市、磐田市、袋井市、森町、掛川市、 菊川市、御前崎市、牧之原市、湖西市	所管省庁	経済産業省

**事業名：遠州綿紬を活用した新たなコーディネート小物、生活雑貨等の
商品ラインナップ開発と市場開拓**

会社名：株式会社四季彩堂

所在地：静岡県浜松市東区有玉北町2297-1

連絡先：TEL：053-489-8888

H P：http://www.shikisaido.com

FAX：053-435-8888

事業概要(新たな活用の視点)

遠州綿紬は庶民の着物用生地として、江戸時代から地元で愛されてきた。昔ながらの縞柄に特徴があり、綿100%のため肌触りがよく使うほどに空気を取り込んだ優しい風合いになる。しかし近年では、需要の低下や輸入品の急増、職人の高齢化や後継者不足によって、高度に分業化された遠州綿紬の製織技術が途絶えてしまうことが懸念されている。

本事業では新ブランド「くるり(仮称)」を立ち上げ、遠州綿紬を使った和雑貨を開発する。遠州綿紬にキルティング加工を施すなど季節に応じた表情を実現するほか、カテゴリ別にコーディネート提案することで、30代～50代の女性の需要を開拓する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

伝統的な縞柄と現代的な色彩の組み合わせは珍しく、消費者のライフスタイルに合わせたシリーズ展開でファン層拡大を狙う。また、「良いものを長く使う」をコンセプトとして、ターゲット女性が好む配色や柄を研究し、日本や遠州地域の四季を表現しながら年間を通じた利用シーンを提案していく点で、類似商品との差別化を図る。

◆市場性

近年の消費行動において、本物志向、こだわり消費が伸びており、ブランドや日本製品に対する嗜好も伸長していることから、ファンの定着が期待できる。

◆販路

当社が経営する「和の生活雑貨 四季彩堂」全店舗(静岡県内5店舗)で販売するほか、当社卸売事業部を通じて、静岡、山梨、愛知、三重、岐阜県内の雑貨等小売店やホテル・旅館へ販路拡大を図る。また、ギフトショー、インテリアライフスタイルショーといった展示会で新規顧客を開拓する。

地域資源における関係事業者との連携

機料、機織り、経通し、整経、管巻き、糊付け、染色、燃糸、かせ揚げ、原糸仕入、産元など高度に分業された生地生産は全て地元企業に依頼するほか、生地を加工する縫製や商品のデザインも地元企業と連携するなど、オール遠州で商品開発を進め、地域活性化に貢献していく。



【遠州綿紬製コーディネート
和雑貨の試作品】



【遠州綿紬にキルティング加工
を施した生地を用いたバッグ】